

教科		理科 (小・中)	
	指導の重点事項	努力事項	
指導計画の作成	◎ 日常生活や他教科との関連を図った指導計画の作成	◎ 指導計画の作成に当たっては、理科を学ぶことの意義や有用性を実感できるように、日常生活や他教科との関連を図る。 ○ 直接体験を重視し、基礎的な観察・実験の技能を習得する機会及び科学的に探究する学習活動に取り組む時間を十分確保するよう工夫する。 ○ 小・中・高等学校の学習内容の系統性を踏まえた指導計画を工夫する。	
指導の工夫	◎ 解決するための見通しをもたせる工夫	◎ 子ども一人一人が問題を見だし、解決するための見通しをもち、調べた結果を分析して解釈する学習活動の充実を図る。 ○ 理科で目指す資質・能力の育成に向け、科学的に探究する学習活動の工夫・改善を図る。 ○ 指導の効果を高めるため、振り返る活動を計画的に取り入れるとともに、地域の環境や人材などの資源及びICT機器の活用を図る。	
評価の充実	◎ よさや可能性を伸ばす評価の工夫・改善	◎ 子ども一人一人のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習意欲を高める。 ○ よさを認め合う相互評価や自己評価を工夫し、学習状況を多面的にとらえ、指導に生かす。	

主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実のために

ポイント2 「教材との出会い・学習課題の把握」

ポイント3 「見通し」

身近な事象や具体物の提示、演示実験などにより、子どもの問いを引き出す。

窓が曇っていて、外の様子が見えないな。朝は見えていたのに、...



窓以外に、水滴がついて曇っているものを見たことがありますか。



課題を解決するための方法を、子どもに考えさせる。



コップに水滴がついて濡れていることがあります。

コップの表面は、いつも濡れるのですか？

* 方法の見通し、結果の見通しの観点から、予想や仮説を含む実験計画が立てられるように指導する。

冷たい水を入れたときだけ濡れる気がします。本当にそうなのか、コップに入れる水の温度を変えて調べてみたいです。



ポイント5 「まとめ・振り返り 新たな学び」

根拠のある説明ができるように指導しましょう！(実験の留意点は？ どうしてそう言えるの?) 観察・実験での基本的な操作について、その意味を理解させながら習熟を図りましょう！

子ども自身が学びの変容を自覚できる、振り返る活動を充実させる。



どのようなときに、水滴ができることがわかりましたか。そう判断する理由も書きましょう。

今日の実験で、工夫したことや気を付けたこと、できるようになったことは何ですか。

今日の学習を通して、もっと知りたいことや疑問に思ったことは何ですか。

温度を読むときに、1目盛りの十分の一の大きさまで目分量で読めるようになりました。

